

令和5年度 佐藤小学校評価

アンケート集計結果 (%小数第一位を四捨五入)

評価 A…そう思う B…だいたいそう思う C…あまりそう思わない D…そう思わない E…わからない

太数字 …AB合わせて80%以上
 斜数字 …CD合わせて20%以上

		評価	児童	保護者	教職員
よく考える子	①子供たちは、自分の考えを持って学習に取り組んでいる	A	41%	19%	7%
		B	38%	49%	75%
		C	6%	26%	15%
		D	3%	4%	0%
		E	12%	3%	
	②子供たちは、「知りたい」「できるようになりたい」という思いを持って、進んで学習に取り組んでいる。	A	50%	16%	21%
		B	37%	48%	71%
		C	6%	28%	7%
		D	2%	8%	0%
		E	5%	0%	
	③子供たちは、勉強が分からないときに、教師に聞くことができる。	A	40%	16%	21%
		B	32%	45%	53%
		C	14%	22%	25%
		D	7%	12%	0%
		E	7%	5%	
	④子供たちは、友達と話し合ったり、助け合ったりして学ぶことができている。	A	59%	31%	32%
		B	29%	55%	50%
		C	4%	9%	17%
		D	3%	4%	0%
		E	6%	2%	
思いやる子	⑤子供たちは、自分のよさを見つけている。	A	50%	19%	17%
		B	27%	56%	71%
		C	7%	19%	10%
		D	6%	2%	0%
		E	9%	4%	
	⑥子供たちは、友達のよさを見つけている。	A	55%	38%	42%
		B	29%	50%	50%
		C	9%	6%	7%
		D	2%	2%	0%
		E	5%	3%	
	⑦子供たちは、進んで挨拶をしている。	A	52%	27%	17%
		B	31%	42%	42%
		C	7%	24%	28%
		D	5%	6%	10%
		E	4%	1%	
	⑧子供たちは、決まりを守って生活している。	A	37%	31%	7%
		B	42%	56%	67%
		C	10%	11%	14%
		D	6%	2%	10%
		E	6%	1%	
⑨子供たちは、『できるようになりたい』という思いを持って運動に取り組んでいる。	A	60%	29%	22%	
	B	27%	47%	74%	
	C	4%	19%	3%	
	D	4%	4%	0%	
	E	5%	1%		

健やかな子	⑩子供たちは、進んで体を動かしている。	A	49%	32%	25%
		B	29%	36%	50%
		C	11%	25%	25%
		D	6%	7%	0%
		E	4%	1%	
	⑪子供たちは、学校(学級)で安心して過ごしている。	A	49%	38%	14%
		B	36%	49%	75%
		C	8%	8%	10%
		D	4%	3%	0%
		E	3%	3%	
	⑫子供たちは、交通ルールを守って生活している。	A	70%	42%	10%
		B	22%	56%	75%
		C	3%	2%	14%
		D	2%	0%	0%
		E	2%	0%	
	⑬子供たちは、「おはしも」「いかのおすし」を守って生活している。	A	70%	38%	39%
B		20%	54%	50%	
C		1%	4%	10%	
D		2%	0%	0%	
E		6%	3%		
キャリア教育	⑭子供たちは、夢や目標を持っている。	A	74%	27%	17%
		B	15%	45%	64%
		C	6%	21%	17%
		D	3%	3%	0%
		E	3%	4%	
開かれた学校づくり	⑮学校は、家庭、地域と積極的に連携していて相談しやすい。	A		24%	6%
		B		57%	75%
		C		15%	13%
		D		3%	3%
		E		1%	
	⑯学校は、便りやホームページなどで情報を発信している。	A		39%	33%
		B		52%	59%
		C		8%	7%
		D		1%	0%
		E		1%	
保健管理	⑰学校は、子供の安全確保や健康管理の取り組みを行っている。	A		40%	42%
		B		50%	50%
		C		8%	7%
		D		1%	0%
		E		1%	

【考察】

- 子供たちは、友達と話し合ったり助け合ったりして学ぶことができている。
→対話への制限がなくなり、対話を通して学ぶ機会が増えた。
校内研修を通して、職員が授業づくりを意識した。
- 子供たちは、友達のよさを見つけることができている。
→「かがやき発見」や「こころの日」の全校の取り組み。
- 子供たちは、学校で安心して生活することができている。
→職員の日々の声掛け。ハートタイムの実施。
- 子供たちは、交通ルールを守って生活している。
→旗振り、交通安全ボランティアの方をはじめ、地域の方の声掛けがある。
全学年、交通安全指導教室の実施。折に触れて、全校・学級で指導している。

- 子供たちは、分からないことを聞くことに遠慮がちである。
 - 「分からない」と言える学級風土づくり
 - これからの時代に求められる学力・学び方を意識した授業づくり
 - 家庭学習の見直し（与えられる課題→自分で考えて取り組む学習へ）
 - 職員・児童・保護者の意識転換
- 子供たちは、進んで体を動かしている子ばかりではない。
 - 運動量を確保した体育科の学習
 - 自分の目標を持って取り組む体育的行事等
 - （運動会、新体力テスト、さとっころランニングウィーク）
- あいさつ・きまりを守ることについて、子供たちと保護者・教職員との間に認識の違いがある。
 - 「さとっこのきまり」をより分かりやすいものに改定
 - 生活・学習のルールを全職員で全校児童に声掛けする。
 - 代表委員会（子供たちの話し合い）での、佐藤小をよりよくするための話し合い
- 学校の教育活動・子供の様子が家庭に見えづらい部分がある。
 - 今後も学校だより、ブログ、懇談会、面談等を通して積極的に発信していく。

【学校運営協議会の皆様からの主な御意見】

- ・ 一人一台タブレット端末が配られ、勉強が分からないときの解決方法の選択肢が増えた。子供たちが分からないことに直面したとき、どのように解決しているかを分析することで、子供たちの学びがより深まる方法を探っていけるのではないかと。
- ・ 挨拶について、子供たちはできていると感じている一方、大人からはそう見えていない部分がある。「挨拶ができている」とは、どのような状態を指すのか。挨拶をされると心が温かくなるという受け手の気持ち（挨拶の効果）も含め、今後も学校で指導してほしい。佐藤の町に挨拶の輪が広がるように、学校運営委員会や地域が協力できることがないか考えたい。
- ・ 臨時いじめ対策会議を開き迅速な対応ができること、組織的に動いていることを聞き、今後もぜひ続けてほしい。いじめかどうか分からないくらいの細かい事案も拾い上げることが大切。今後も続けてほしい。「こういうときは、こうするんだよ。」と声を掛け、子供たちが人との関わり方の経験を積む機会にしてほしい。該当児童だけでなく、学年・学級で話し合う機会になるとよい。
- ・ いじめについて、未然防止に力を入れた指導をする。アンケートによる実態把握→学年での情報共有→臨時いじめ対策委員会→いじめ対策委員会のサイクルを回していく中で、より迅速に対応できる方法に改善していく。
- ・ 校内研修を通して、これからの時代に求められる学力・学び方への教員の意識転換を図る。また、学校だよりや懇談会、三者面談などを通して、家庭とも共有する。
- ・ 年数回の参観では、学校の様子や子供たちが考えていることなどを把握するのが難しい。今年度は立ち上げ年だったため、今後、年数を重ねていく中で、学校の様子がさらに見えるようになっていくとよい。

今年度も、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に御理解・御協力いただき、ありがとうございました。

今回、報告させていただいたアンケート調査の結果や皆様からいただいた御意見をもとに、学校では来年度に向けての教育編成会議を重ねてまいりました。令和6年度の教育活動も子供たちにとって充実したものになるように、全職員一丸となり学校教育目標「かがやく子」の育成に努めてまいります。